



P T A 広 報

乙 中

第140号

R. 4年8月発行
富田林市立
第二中学校PTA

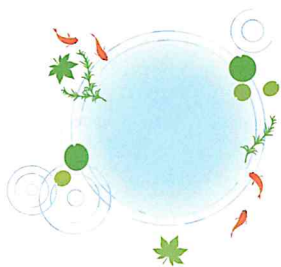


PTA会長
天堀 修 一

平素より皆様にはPTA活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。昨年度に続きPTA会長を務めさせていただくことになりました。

新型コロナウイルスの日常生活の中で少しずつ学校行事や、地域行事が元に戻りつつありますが、まだまだ皆様それぞれが自粛や行動を制限されていることと思います。やはりコロナではなく限りなくゼロでないといけないと思います。

今年度も皆様とともに感染防止対策に細心の注意をし、学校行事やPTA活動を成功させていきたいと思っておりますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



校長
加藤 靖

『自分らしさが
尊重し合える学校に』

新型コロナウイルス感染症が拡大し始めて2年半が経過しました。しかしながら、今なお感染者数は増減を繰り返し、この原稿を書いている7月中旬にはいよいよ「第7波」に突入したようです。重症化率や死亡率が低いとは言われているものの、やはり感染したり濃厚接触者となれば一定期間は自宅待機を余儀なくされますし、特に高齢者のおられるご家庭においてはご心配のこととお察しします。学校における最低限の感染対策につきましては、今後も油断することなく取り組んでいきたいと考えていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

とはいえ、熱中症の心配もあり、生徒たちには屋外の活動や屋内においても体育の授業や激しい運動をする場合には「マスクを外すように」と指導してまいりました。しかし、2年以上にわたり、マスク生活を余儀なくされた子どもたちには、今となっては「マスクを外す」ことかなりの抵抗感があるように見受けられます。感染の心配もあるでしょうが、むしろ顔を出してしまうことへの抵抗感や、ただ着けていることへの安堵感が強いよ

うです。そういう意味において、マスクを着け続けたことによる、言語や社会性といった発達面での影響が懸念されています。また、私たちは相手の表情などさまざまな非言語的コミュニケーションで、相手が何を考えているのかを感じ取ります。ところが、マスクで顔の大部分が隠されてしまうことで、相手の気持ちを感じ取る力の発達に支障がでるのは、と危惧しています。

本校では、「人と人とのつながり」というものを大切にすることを教育目標のひとつに掲げています。今年度の最初にも、生徒たちには「自分らしく生きよう」として「自分らしく生きようとするまわりの仲間を大切にしよう」と呼びかけました。生徒たちは、このような状況の中でも、さまざまな行事や活動を通して、仲間を理解し、自分らしさとは何かを考え、自他ともに尊重する力を確実に身につけてきました。マスクという布きれ一枚で、子どもたちの発達をゆがめてなるものかと、むしろコロナ禍以前よりも、つながりを促す関わりを工夫してきました。修学旅行に宿泊学習、体育祭に合唱、部活動やふだんの活動：感染のリスクを心配すればざりがありませんが、しかし、本校においては、その都度さまざまな事態をシミュレーションしながら、その対応を協議し、保護者の方々にも積極的に発信しつつご協力をお願いし、できるかぎり生徒たちに寂しい思いをさせないように努めてまいりました。そういったことも、今年度の学校生活に関するアンケート調査において、「学校が楽しい」94.2%、「みんなだ何かをするのは楽しい」96.5%（数値は全学年、「どちらかといえば」も含む）という、きわめて高い数値につながっているのではないかと分析しています。

今後、保護者の方々や地域の方々にご協力いただきながら、子どもたちにとことん寄り添い、その成長を見守っていきたくと考えています。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



教頭
武田 光 二

『次、どうするか』

7月20日(水)1学期終業式が終わった後に職員会議がありました。会議ではたくさんのお客様について、話し合い確認してまいります。その一つに「1学期を振り返る」という時間がありました。先生方がこの1学期にあつたことをグループ内で話をします。みんなの1学期の頑張った様子や先生が頑張った取り組み、先生が見つけたみんなのいいところ……1学期が終わった直後に思っていることを交流していました。あつという間に時間が過ぎ、時間が足りない状態でした。その時の会議室はとてもあたたかく優しい雰囲気でした。

「1学期を振り返る」の中には「次(2学期以降)、どうしていきたいか?」も含まれています。ただ、「どうだったか?」だけでなく、「次、どうするか?」を考えることが大切だと私は思っています。

私は振り返る方法として、「GOOD」「BAD」「NEXT」次、どうするのか。私はこの方法と出会うまでは、「BAD」のみでした。それで「NEXT」を考える……なかなかモチベーションが上がっていませんでした。「GOOD」を用いることによって、よかったことを更によくしよう!という「NEXT」も考えることができるようになりました。

さあ、君たちは「NEXT」……どんな2学期にしたいですか?

3年

R 4. 5 / 19 ~ 5 / 21

修学旅行 in 沖縄



初日の平和祈念公園では、これまでの学習で感じた思いを込め黙祷をしました。二中学生で作った千羽鶴を寄贈し、平和宣言を行いました。ガマ体験では、戦争の恐ろしさを感じました。これからの平和は自分たちが守っていかなければならないと感じてくれたことでしょう。

二日目のマリントレーニングでは、ホテルのプライベートビーチが風のため使用できず急遽、変更になりました。雨男は一体誰なんだ・・・と自分を憎みました。変更先のビーチでも、やまない大雨、下がる気温、吹きつける風のなか、マリントレーニングを行いました。ただ、雨ニモマケズ、風ニモマケズ、はじける「ええ顔」で楽しむ姿をみることができて幸せでした。今となっては、良い思い出です。2日目の夜、学年レクリエーション。どうすれば、見ているみんなを楽しませることができるのか。本気で考えました。本番では、完成度の高さと真剣にふざける様子。見るものを釘付けにする歌、劇、ダンスでした。このパフォーマンスが応援でも、きっと発揮されることでしょう。



最終日の国際通りでは、見事に晴れました。青い空、賑わいを見せる通り、行列ができるポータマの店。たくさんのお土産と思い出をのせて那覇空港を出発。外環の真っ暗な道を歩き、帰ってきた校舎には、すべての教室の電気をつけて出迎えてくれた先生方。そして、迎えにきてくれた保護者の方々。子ども達の安心した表情。感動的な瞬間でした。

今年も、コロナ禍の修学旅行となりました。行き先の変更や縮小の判断が頭をよぎる中、たくさんの方々への支えとご協力により、「沖縄」での修学旅行を実現することができました。本当にありがとうございました。

3年 学年主任 金田 和也



1年 宿泊学習 in 鉢伏

R 4. 6 / 16 ~ 6 / 17



74期生として初めての大きな行事である宿泊学習を無事終えることができました。1日目、すごくいい天気ですスタートし、3つのアクティビティで大自然を満喫することができました。最初は汗だくなるくらいいい天気でしたが、夕方にはまさかの大雨・・・。山の天候はすぐに変わりやすいとは聞いていましたが本当にびっくりです。アクティビティを急ぎよストップし、急いで宿舎に戻りました。ビショビショになって宿舎に戻った後も、バタバタでしたが先生の指示をよく聞いてお風呂に入り、早めの夕食に。みんなが協力してくれたおかげで、予定していた時間を大幅に短縮でき、その結果、夜の学年レクを予定よりも長い時間楽しむことができました。レクのオープニングセレモニーでは文化委員と保健委員のメンバーがダンスを披露し、大盛り上がり!! その後のレクもクラスの仲間をみんなでも応援し、白熱のバトルが繰り広げられました。先生はレクの最後に歌った「虹色の戦争」が特に印象に残っています。あの時の会場の一体感が本当に最高でした!! まさに「いい時間」でしたね。2日目もレク(パート2)に、勾玉つくり、充実した時間を過ごすことができました。この2日間の取り組みを通じて、クラスの仲間とお互いのことをより理解し合うことができました。取り組みの1つである「いいところ探し」ではクラスの仲間の素敵なところをたくさん発見することができたのではないのでしょうか。それくらい1人1人が色々な場面でキラキラ輝き、素敵な姿をたくさん見ることができました。

最後に、この宿泊で深まった絆で、これからも体育祭や文化祭といった学校行事や普段の学校生活を通じて、学年集団としてもさらにステップアップしていきたいですね。74期生のみんな、これからもがんばっていきましょう!!

1年生学年主任 長谷川 太一



2年

スタンプ大会

R 4. 6 / 13

「いいなあ、いきいたいなあ。」と、宿泊学習の取り組みに忙しい他学年を、うらやましく思っていた2年生です。「新しいクラスになったけれど、まだ仲良くなれてない気がする。宿泊があったら違うのに。」そんなつぶやきから、スタンプ大会の取り組みは生まれました。クラスが今以上に仲良くなれるように、また、応援合戦の練習にと、2つのめあてをたてて、取り組みました。

結果をひとことで表すと、A組「ほのぼののハッピー」、B組「ほう、そうきたか!」、C組「今っばい! 昭和なのに!」と、それぞれのクラスの個性がよく表れたスタンプ大会となり、学年みんな楽しんで時間を過ごすことができました。堂々とパフォーマンスをする姿にも、それをあたたかく見守る目にもお互いの信頼が感じられ、今日までの積み重ねを感じた私です。さあ、2年生はスタートしたばかり、積み重ねはこれからも続きます。あらゆる場面でお互いの違いを認め合い、信頼を深めていきましょう。

2年生学年主任 富藤 聖子





四段目

★支援橋本 快生 保健体育
 2-A 平田 友暉 英語
 ★1年麻野 将司 英語
 西尾 広輔 保健体育
 生徒指導主事
 1年長谷川太一 技術
 1年学年主任
 1年柳瀬 潤章 理科
 1-B 山内 伸亮 社会
 ★1-A 高城 光 国語

三段目

★は、新しく赴任された先生です
 後藤 建治 校務員
 ★支援阪本 透 保健体育
 向井 裕 事務
 ★2-B 林田 光貴 保健体育
 ★2-C 川勝 雛乃 国語
 2年高橋 美輝 理科
 増田 未華 栄養教諭
 長田 萌愛 養護教諭
 2年阪田 一之 数学
 教務主任

二段目

★支援左古 香織 国語
 ★1年谷口 美佳 英語
 通級竹本 知佳 国語
 児島 和 理科
 生徒支援CO
 1-C 長谷川知美 美術
 橘 奈津美 学校司書
 ★今井 豊子 介助員
 南野 雅子 介助員
 古賀 良江 介助員
 2年富藤 聖子 国語
 2年学年主任
 森田 宏子 家庭科

一段目

3年岡本 和子 保健体育
 支援山田 春菜 英語
 生徒会担当
 3-B 西野 佳樹 国語
 3年金田 和也 社会
 3年学年主任
 武田 光二 教頭
 加藤 靖 校長
 ★3-A 中西 彩花 英語
 3-C 竹本 美怜 数学
 3年木村千佳子 音楽
 3年高橋 迪弥 数学
 進路指導主事



次回の広報誌は体育祭、文化祭の様子をお届けします。